

事務事業評価シート 平成 30 年度事後評価・決算

令和 2 年 2 月 21 日時点

事務事業名		25400	有害鳥獣駆除事業	予算科目	会計	款	項	目	担当班	農業基盤整備班
施策体系	基本施策	1	農水産業の振興	根拠法令	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律	6	2	1	事業種別	☒ 主な事業
	施策の展開	1	農畜産物の生産振興	戦略事業	10	有害鳥獣駆除事業				☐ 国土強靱化地域計画
	施策の展開			戦略事業						☐ 新市建設計画
										☐ 定住自立圏構想
										☐ 主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☐ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ 年度～ ☒ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 年度～ 平成 年度まで	鳥獣による水稲野菜などの農作物の食い荒らされる被害防止のため、猟友会に害を及ぼす鳥獣(スズメ、カラス、ドバト等)の駆除を依頼し被害防止をする。 期間: 6/1から8/31 実施時間: 日の出から日の入まで	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
猟友会へ有害鳥獣駆除を委託し、農作物の被害防止を努めている。	旭市や近隣市において、イノシシの目撃情報が多くなっており、イノシシによる被害防止対策が必要となってくる。	自分の畑の周りにもカラスが集まっているので駆除をしてほしいとの声があり、猟友会へ畑の周りを重点的に撃ってほしいとお願いをした。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細 (30年度の決算)		単位: 千円
1. 鳥獣駆除委託料	1,363	有害鳥獣駆除委託料ほか
2. 保険料	188	従事者保険料ほか
3. 消耗品費	0	
4. 負担金補助及び交付金	137	協議会補助金・猟友会補助金
5. その他	0	
② 特定財源の内訳 (30年度の決算)		単位: 千円
1. 国庫支出金	0	
2. 都道府県支出金	247	野生獣害管理事業補助金
3. 地方債	0	
4. その他	0	

事業費	費目内訳	単位	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (決算)	31年度 (予算)
事業費	1. 鳥獣駆除委託料	千円	450	587	1,081	1,363	2,016
	2. 保険料	千円	185	196	203	188	181
	3. 消耗品費	千円	0	17	11	0	17
	4. 負担金補助及び交付金	千円	0	0	996	137	146
	5. その他	千円	0	127	0	0	30
事業費計 (A)		千円	635	927	2,291	1,688	2,390
財源	1. 国庫支出金	千円					
	2. 都道府県支出金	千円			1,211	247	315
	3. 地方債	千円					
	4. その他	千円					
	5. 一般財源	千円	635	927	1,080	1,441	2,075

前年度増減理由: 今年度は捕獲器を購入しなかったため減少。委託料の増加は頭数の増加に伴うもの。

従事職員数: 常時 2 人 最大 人 × 日 = 延べ 0 人

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

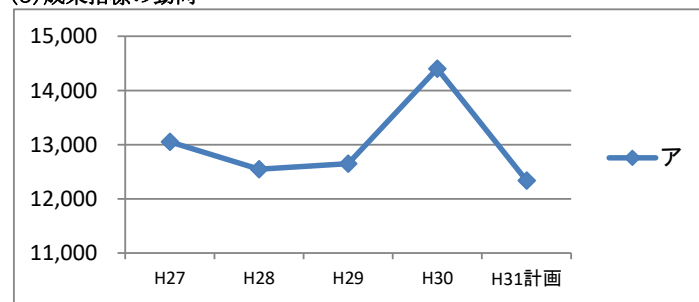
手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	31年度 (計画)
	30年度実績 (30年度に行った主な活動) ・猟友会へ農作物に害を及ぼす鳥獣の駆除委託 ・駆除委託にかかる保険の加入 ・イノシシの捕獲にくりわなを導入 ・センサーカメラを設置しイノシシの動態を調査 ・狩猟免許の取得にかかる費用を助成	ア 有害鳥獣捕獲数(カラス、スズメ、ドバト等)	羽	512	534	495	551	1,284
目的	② 対象・意図 (対象がどのような状態になるのか)	イ 有害鳥獣捕獲数(イノシシ、キョン等)	頭			3	14	30
	対象: 有害鳥獣被害を受けている農業者 意図: 農作物の被害が減少し、農作のしやすい環境になる	④ 成果指標名	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	31年度 (計画)
目的		ア 農作物の被害金額	千円	13,054	12,549	12,648	14,403	12,336
		イ						

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
施策貢献度	大きい	かなりある	ある程度ある	ほとんどない
		②		
施策貢献度	普通			
施策貢献度	小さい			

② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
評価結果	①	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
		(2)		
評価結果	②			
評価結果	③			
評価結果	④⑤			
評価結果	⑥			
評価結果	⑦⑧			
評価結果	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	
	② 成果の状況	成果指標ア 成果指標のタイプ: 数値減=成果向上 ☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下 成果指標イ ☐ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下
	【コメント】 (低下の場合、その理由)	鳥類による被害が増加したが、イノシシ捕獲頭数は大幅に増加し、一定の成果が見られた。
評価内容	③ 今年度取組事項 (31年度に取り組む主な事項について記載)	時期: 内容: 引き続き駆除を猟友会に委託する。イノシシを処分した際1頭当たりの金額を増額し捕獲への意欲を高める。
	今後の方向性	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 見直し ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ その他 () 令和元年度以降: カラス等鳥類は銃器による、イノシシについては箱わな・くりわなでの捕獲による駆除での被害防止対策を続けていく。